

15 日

連合教授会
理事會

団交要求決議

学費値上げ・二部改廃阻止

学生会
苑大
学学

「学費値上げ、二部改廃」問題を
を中心議題として、十五日学苑会
臨時学生大会が記念館で開催され
見送りの大衆運動展開に対する

攻撃のせい、学生会学生大会と
変わって、会場は閉鎖、成立も危
ぶまれた。だが開会予定時間を一

時間三〇分経過した七時三〇分頃
総代議員一六〇名のうち八一名の
出席をもって大会は成立。
大会は短時間の進められてい

た。
大会における中執議案書説明は
「学費が見送りとなくなったといえど
も、受験料の60%値上げは実質学
費値上げである」とするアピール
も会場の冷たい静寂を破ることも
なく、今回の当局の策動が如何に
影響したかを物語っていた。

しかしながら、大会は「静寂
のうちにも、「学費値上げ問題」
を契機としてクラス討論—クラ
ス闘争委員会の結成をかち取って
きたことよって、タダタダしく
もクラスからの発言が続き、一般

的な決意表明ならず、まさに運
動の根源的方向性を指し示す発言
が多く語られた。

その二「二文二連協」の学友
は、「学費値上げが見送りになっ
たからといって、われわれの闘い
は変わる訳ではない。われわれ自
身の闘いは根源的には自らの闘
いとしてあるから」と自己の存在
性を鋭くみつめつつ運動を構築し
ているその発言は、68・69年全共
闘運動を知らない彼ら世代が
その實を明確に把握し、それを乘
り越える何物かを感じさせた。
あるいは「史一A」の学友は
「学館自主管理を行う中で大学の
支配・管理体制が視えてきた」な
ど……。

会場はハムンとする熱気こそな
いが、自然発生的なクラス末端か
らの討論を踏まえ、それを徹底的
に深化させようとする大会であっ
た。

「学費問題」同様、「二部改廃
問題」も重点的に論じられ、その
「二部改廃問題」を一部学生会中

執が、十三日学生大会において明
確に提出しなかった問題性が、代
議員から批判として提出され、学
苑会中執は学生会中執との「話し
合い」を確認した。二部改廃にお
いて「二部改廃問題」が重要問題
としてクラス決議されたながらも一
部段階において視点が決定的に不
充分であることは、全ての学友が
明確に確認する必要があるであ
らう。

二時間余に渡る自由討論を繰
りかえ、中執から今後の方針提
げもその二環(一環)問題、二部改廃問
題を主要な問題として、理事会・
連合教授会への団交要求が議案書
と共に一括採決にかけられ、代議
員総数八四名中賛成八〇名、反対
〇、保留四名で、議案書、団交要
求が圧倒的に可決された。

十一時頃、最後にスローガンを
採択し、お茶の水駅まで果敢なデ
モンストレーションを展開し、こ
の日の臨時学生大会を終えた。